令和５年度　ＰＬ学園　小学校　学校経営計画　および学校評価

１、めざす学校像

本校の教育理念
ＰＬ学園は、パーフェクト　リバティー教団の教義に基づく教育を実践するために創設されました。
教義の根幹である「人生は芸術である」という真理は、各人が生まれながらに持つかけがえのない唯一無二の個性を、神に依りつつ、実人生の上に誠心誠意表現していくところに人間の真の喜びがある、というものです。したがって、ＰＬ学園で学ぶ一人一人に、この真理の妙味を会得せしめ、人間力の向上を期すものです。すなわち、自分をとりまく環境の中で、旺盛な自己表現の力を養いつつ、自他祝福の力をもつ「平和人」の養成を目指すものです。

２、中期的な目標

１、信仰心を持った人間の育成
（1）「信仰心」「祈り心」を育む
・　日常生活の中に信仰を取り入れ、すべての行事・授業などに、始まりと終わりの遂断（祈り）を実践し祈りの習慣を身につける
・　一の日（平和の日・先祖の日）の式典の実施・参列
・　教職員の信仰心の向上を図る。研修の実施
（2）「献身する心」の育成
・　学校行事の参加を通して、人のために役立つ献身する心を育てる

２、確かな学力の育成
（1）基礎学力の養成
・　基礎学習が必要な生徒の学習指導・教育相談
・　自学自習の習慣を身につける
・　学習到達度テストの利用
（2）受験に対応する学力の養成
・　入試に向けての高度な内容の学習指導・進路指導の徹底
・　英語教育の充実を図る
・　自学自習の徹底を図る
（3）教員研修を充実させ、次世代の新たな授業を検討する
・　教員研修と公開授業の充実を図る

３、豊かな人間性と社会に役立つ人間力を持った品位ある人材の育成
・　児童を一人の人間として接し、人格を尊んだ指導を行う
・　職員室に来やすい環境をつくり、教師ー児童間の距離を近くする
・　いじめ・暴力のない学校作りを推進する
・　児童会活動、クラブ活動などで良好な人間関係を形成する環境を作る

【自己評価アンケート結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校関係者評価委員会からの意見
１、信仰心を持った人間の育成 〇結果 〔児童〕 【１】ＰＬの教えを学んでいる。　肯定　100% 【８】すすんで献身するよう心がけている。　肯定　90% 【14】教会行事に参加している。　肯定　90% 〔保護者〕 【９】私の子どもは、自分なりに考えて積極的に献身している。　肯定　83% 【11】私たち家族は、教会行事に参加している。　肯定　93% 【12】教職員は、信仰を通しての生活指導を目標に努力している。　肯定　100% 〔教職員〕 【３】学校では適切な信仰指導が行われている。　肯定　100% 【４】学校では、校内美化・清掃などに取り組み、献身精神の育成に取り組んでいる。　肯定　100% 【５】教員・児童は信仰心の向上に取り組んでいる。　肯定　100% 【６】教員・児童は式典への参拝を行っている。　肯定　100% 【13】本校では、各学年に応じた宗教教育が計画・実施されている。　肯定　100% 〇分析と今後 ＰＬの信仰を育んでいると思われる。とりわけ平和の日、先祖の日が登校日の場合、毎回本校講堂で式典を厳粛に挙行している。また、世の為、人の為にお役立つ働きができるよう学校行事、クラブ活動等を通して奉仕の心（献身精神）が身についてきていると思われる。今後、児童は所属する教会において益々保護者と共に信仰を進めていただきたい。	学校関係者評価委員会 教団代表者・保護者代表者・教会関係者・寮関係者 １、信仰心を持った人間の育成 信仰心 ・信仰の学校として教職員と保護者と児童が意識をもって取り組まれている。 ・教えを学ぶことや献身することに積極的に取り組んでいるものと思われる。児童・保護者・教職員が一体となっている様子が伺われる。 ・教職員の信仰指導によって児童、保護者も信仰や献身に努力されていることが伺える。 ・世の中の役に立ちたい、誰かのために何かできないかという思いを基本に考えられる生徒を育てていくために勉強、行事を通して取り組んでおられることを強く感じる。 つまづいた時、悩んだ時に、誰かに相談する環境、教職員だけでなく、親子で信仰を深めることによって、自分が変わっていく道、自分が取り組める道を一緒になって考え探していけるのだと思う。
２、確かな学力の育成 〇結果 〔児童〕 【２】楽しく勉強に取り組んでいる。　肯定　100% 【３】授業の内容が身についている。　肯定　97% 【４】一ヶ月に〔Ａ３冊以上　Ｂ２冊　Ｃ１冊　Ｄ０冊〕の本を読んでいる。　肯定　83% 【５】通知表の結果は、その通りだと思う。　肯定　100% 【15】先生方は分かりやすく授業をしている。　肯定　100% 〔保護者〕 【１】私の子どもは、授業は分かりやすいと言っている。　肯定　100% 【２】私の子どもの家庭学習は、充実している。　肯定　73% 【３】私の子どもの基礎学力は、向上しつつある。　肯定　97% 【４】私の子どもの通知表の評価は納得できる。　肯定　100% 【14】ＰＬ学園小学校は、保護者に対し「教育方針」や学校の様子を分かりやすく伝えている。　肯定　100% 〔教職員〕 【７】授業は児童の立場に立った、分かりやすい指導がなされている。　肯定　100% 【８】成績不振者への教育相談や学習指導など個々に応じた指導がなされている。　肯定　100% 【９】児童の興味・関心を高める、各学年に応じた学習を計画し実施している。　肯定　100% 【10】ＮＲＴ学力テストを実施し、基礎学力を分析し学習指導に活用している。　肯定　100% 【11】担任は、個人面談を行っている。　肯定　100%	２、確かな学力の育成 学力 ・学校での学力向上については素晴らしい状況である。 ・児童は、楽しく勉強に取り組み、授業の内容も身についているとの肯定が97%は素晴らしいと思う。 ・児童が先生方の授業は分かりやすいと肯定が100%はすばらしいことである。保護者もほぼ認めているので、先生方の努力と思います。 ・保護者から見て、家庭学習が充実しているとは思えない人がいるのは何が原因しているのだろうか。 ・教職員が児童のために信念を持って指導されているのが伝わってくる。 ・ほとんど90%以上なのに、読書の項目だけが少し低いのが気になる。 学習したことをより深めたい、興味を持ったことを調べてみようという意識が低いのかもしれないと感じる。本だけが材料ではないと思うが、ipadの利用や図書館の充実などが必要なのかもしれない。

○分析と今後
児童の授業に臨む姿勢はよく、意欲をもって努力していることがわかる。
授業は落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組むことができ、勉学への意欲が向上しているものと考えられる。
自学自習の出来る児童を育てる工夫を継続する必要がある。
児童の予習→授業→復習の学習サイクルの習慣化を目指し、教科間で学習課題に関する質や量等の調整を行うなど、児童が学習に取り組める環境整備に努める。
教員の研修等の参加など、授業力・指導力の向上に努め、児童の学習への意欲を促進するための努力をしている。
今後は、新たに導入した ipad を有効に活用するなどしてＩＣＴ教育へ取り組み、学びの質を向上させるために努力が必要と思われる。

３、豊かな人間性と社会に役立つ人間力を持った品位ある人材の育成
Ａ、規範意識について
○結果
〔児童〕
【６】すすんであいさつをしている。 肯定 90%
【９】周りの人に対して思いやりの気持ちで接している。 肯定 93%
【10】周りの人によくないことにさそわれたとしたら、はっきりと断れる。 肯定 93%
【16】先生方は、ルールを守れていないときは、指導してくれる。 肯定 100%
【17】先生方は、自分のことをよくわかってくれて相談にのってくれる。 肯定 100%
【20】ＰＬ学園小学校は、学校での事故がないようによく考えられている。 肯定 100%
〔保護者〕
【７】私の子どもは、周りの人に対して思いやりがある。 肯定 100%
【10】私の子どもは、良くない事に誘われたとしたら断ることができる。 肯定 100%
【13】教職員は、子どもをよく理解し、相談によく応じてくれる。 肯定 93%
【15】ＰＬ学園小学校は、児童の安全によく配慮している。 肯定 100%
【16】ＰＬ学園小学校の児童は、よく挨拶をする。 肯定 97%
【17】ＰＬ学園小学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。 肯定 97%
【18】ＰＬ学園小学校は、保護者に出す文書・連絡は適切である。 肯定 100%
〔教職員〕
【１】私は、本校の創立の精神と教育理念・目標を理解している。 肯定 100%
【２】児童は、本校の創立の精神と教育理念・目標を理解している。 肯定 100%
【12】本校は、児童が先生と話しやすい雰囲気である。 肯定 100%
【16】本校では、学校の規則やルールを守る指導が行き届いている。 肯定 100%
○分析と今後
本校児童の礼儀・挨拶・規則・モラルにおいての意識が高いことが分かる。現況に甘んじることなく「規範意識を育てる行き届いた指導」とは何かについて今後さらに探求し、指導の質を上げてゆく必要性を感じる。

Ｂ、児童会・部活
〔児童〕
【13】すすんでクラブ活動に参加してきた。 肯定 90%
〔保護者〕
【６】私の子どもは、クラブ活動が楽しいと言っている。 肯定 93%
〔教職員〕
【17】本校では、適切にクラブ活動が行われている。 肯定 100%
【18】本校では、児童会活動が充実し活発に活動している。 肯定 100%

○分析と今後
児童会活動は、児童会役員と担当教師が中心となり、児童の自主性を重んじながら活発な活動を促している。
クラブ活動は少人数ながらクラブ数は多く、低学年から活発に行われている。

Ｃ、愛校精神・充実感・やりがいについて
○結果
〔児童〕
【７】学校やクラスは楽しい。 肯定 97%
【11】自分には良いところがある。 肯定 93%
【12】規則正しい生活をおくっている。 肯定 93%
【18】ＰＬ学園小学校は整理整頓され、施設もよく整っている。 肯定 100%
【19】ＰＬ学園小学校は花と緑があり、気持ちの良い環境である。 肯定 100%
〔保護者〕
【５】私の子どもは、学校に楽しく通っている。 肯定 97%
【８】私の子どもは、心身ともに健康である。 肯定 93%
【19】ＰＬ学園は物が整理整頓され、施設設備もよく整っている。 肯定 97%
【20】ＰＬ学園は花と緑があり、うるおいのある環境である。 肯定 100%
〔教職員〕
【14】本校では、年間１回の防災訓練を定期的に実施している。 肯定 100%
【15】本校では、服装容儀や挨拶の励行など基本的生活態度の指導が行き届いている。 肯定 100%

○分析と今後
全体的に肯定的である。保護者も現在の学園の教育について概ね満足しているという結果である。

４、まとめ
ＰＬ学園小学校の児童は、学校生活においてやりがいや充実感を持ち、規範意識が高く、生き生きと過ごしており、本校の目指す「品位ある児童の育成」に沿った学校教育が成されていると概ね評価出来るのではないかと思われる。今後もＰＬ学園ならではの持ち味を生かし、さらに一人一人に行き届いたＰＬの教義に基づく人間教育を目指すことが、将来社会において貢献できる人間力（自己表現の力・自他祝福の力・集団の規律秩序を正す力・結びを重んじる心）を育む学校として進歩発展出来るものと思われる。
今後もＰＬの教えに基づき信仰を前面にした指導を継続し、子供たちとともに保護者、教員も成長する学園であることを目指したい。

３、豊かな人間性と社会に役立つ人間力を持った品位ある人材の育成
Ａ、規範意識について
・意識高く取り組まれている。中学・高校・社会人になっても同様に実行していける人になるよう指導してほしい。
・あいさつ・周りの人に対して思いやること・ルールを守ることが徹底していると思われる。
・学校と家庭との連絡も細やかで、コミュニケーションがよく取れていると思われる。
・教職員のきめ細かい指導のおかげと感じる。
・児童のほとんどは、先生方を信頼していて素晴らしいと思う。
・保護者も教職員への信頼が厚いと思う。

Ｂ、児童会・部活
・人数が少ない中、充実した活動がされている。児童数が少ないことを一つの武器として、児童会・委員会活動など、いろいろな形で責任ある立場を多くの児童に経験させてあげるのも人間力向上につながると思う。
・スポーツクラブという形となり、多くのスポーツを体験でき、小学校の部活は充実していると感じる。
・クラブ活動、児童会活動の満足度が高いと感じる。

Ｃ、愛校精神・充実感・やりがいについて
・「学校が楽しい」と思っている児童がほとんどですばらしい。
・自己評価は難しい課題であるが、自分の良いところを発見できる子に育ってほしい。
・規則正しい生活の実践が学校全体の調和を生み出しているように思われる。
・学校が楽しい、環境の良さについては、児童も保護者も高い評価になっている。親子共に学校生活に満足していると思われる。
・保護者がほぼ満足していることが素晴らしいと思う。

４、まとめ
・アンケートの回答のほとんどが高い評価というのは素晴らしいと思う。
特に一人ひとりに行き届いた指導がなされていることを感じる。
・PL 学園小学校の児童と接すると皆、とても元気がよく、明るい印象。
このアンケートの結果を見て、児童、保護者、教職員がそれぞれ充実しているからこそあの明るさがあるのだと思う。
今後もより良くなるように期待しています。

本年度の取り組み内容及び自己評価

中間的目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
信仰心を持った人間の育成	（1） ・授業や清掃やクラブ等の開始と終了の遂断（祈り）を行う。 ・平和の日・先祖の日の式典を講堂にて実施し、教えの話を聞く。 ・月に2回、宗教の時間に全学年でPL教師からPLのお話をいただく。 ・職員全体会の開催 （2） ・多学年による清掃 ・児童会行事の中で、献身する心を育む ・学期の最後に大掃除	（1） 年実施回数10回以上 全体会　年2回の実施 （2） 毎日、昼食後に清掃時間 児童会行事も、大掃除も学期に1回	活動の前後での開始の遂断（祈り）終了の遂断（祈り）が、すべての授業・活動で100%行われている。 式典参列の態度が落ち着いた静粛なものとなっている。教話を聞く姿勢も良好である。 職員全体会は、春と新年の始業の前に実施した。 人数が少なくなったので、清掃分担を吟味し、時間・方法などを工夫した。
確かな学力の育成	（1） ・全学年ＮＲＴ学力テストを実施する。 ・6年生は、学力・学習状況調査を実施する。 （2） ・全学年、漢字検定を受検する（2月） ・5・6年生は英検を受検（1月） ・中学受験対策 （3） ・ＩＣＴ教育の研修	（1） 前学年までの学習到達度の把握 （2） 各学年最低合格ラインの設定 上級を目指す、合格級に達していない児童は、6月、11月に受検 中学受験の演習問題を授業で行う。 （3） タブレット実用の職員研修会を実施	学年初めに（4月）2～6年生が実施し、到達度を把握し当学年の指標とする。 1年（10級）2年（9級）3年（8級）4年（7級）5年（6級）　6年（5級）が最低合格級とする。 研修会に参加し、新しいものを学んでいきたい。
豊かな人間性と社会に役立つ人間力を持った品位ある人材の育成	落ち着いた学校生活の整備 児童会活動・クラブ活動の充実 学校のルールの順守、服装容儀・挨拶などの礼儀指導 学校に対する満足度	児童【18】【20】保護者【20】アンケート肯定度100% 児童【13】保護者【6】教職員【17】【18】 アンケート肯定度90%以上 児童【6】【9】【16】【17】【20】 保護者【13】【16】 教職員【12】【16】 アンケート肯定度90%以上 児童【3】【5】【15】【17】【18】【20】 アンケート肯定度93%以上 保護者【1】【3】【4】【13】【15】【17】【18】 アンケート肯定度93%以上	児童【18】100%【20】100% 保護者【20】100%の肯定的な回答であった。児童は落ち着いて学校生活を送っている。 児童【13】100%　保護者【6】93%　教職員【17】【18】100%の肯定的な回答であった。児童会やクラブへの取り組みは積極的である。児童会、クラブ活動も教育活動の一環として促進していきたい。 児童【16】【20】100%【17】97%【6】【9】90% 保護者【13】【16】100% 教職員【12】【16】100% 概ね規範を遵守する意識は高いと思われる。 児童【5】【15】【18】【20】100%【17】97% 保護者【1】【4】【13】【15】100% 【3】97%【17】97% 保護者は、学校に対して満足していることが分かる。学校生活や児童会活動・クラブ活動などが、充実したものとなるように、児童を主体とした自主的な活動を展開していきたい。